

特修英語Ⅰ (Advanced EnglishⅠ)		1 年・前期・2 単位・必修 システム創成工学専攻・物質創成工学専攻 担当 金澤 直志	
<div></div>	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-2, A-1 物質創成工学専攻は対象外		〔JABEE 基準〕 f, a 物質創成工学専攻は対象外
	〔教育方法等〕 概要： 学生自身が必要とする英語表現に出会い、一つでも多く英語での自己表現の方法を蓄積して欲しい。自分で学ぶ習慣をつけることを忘れないで欲しい。TOEIC 対策も随時行う。TOEIC の対策をとおしてみると、英語を学ぶ上で重要な事項が多いので、一つでも多くの表現を TOEIC テストから蓄積して欲しい。映画や音楽教材もプレゼンテーション対策として利用することで、英語でのものの考え方を培っていきたい。		
	授業の進め方と授業内容・方法： この講義の目的は、国際的な技術者を養成するため、英語での読解力を高めるのが目的である。学生が高等教育終了後、国際社会で活躍し、国際的に認められる読解力を養成する。この対策では、発せられる英語（読む英語、聞く英語）に畏縮することなく、発する英語（話す英語、書く英語）に自信を持ち、英語を利用することで、論理的科学的に自分自身について表現する能力を高めることにつなげる。		
	注意点： 関連科目 プレゼンテーション英語 学習指針 TOEIC などの問題を通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく 自己学習 学ぶ習慣を身につけてほしい。英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。		
〔教科書〕 Handouts を配布する			
〔補助教材・参考書〕 Newton TLT A コース(Web 教材)、やり直しの英語(Web 教材)			
〔到達目標〕 ・ TOEIC では 70%の学生が 430 点を超えることができる ・ 自分自身の学ぶ習慣を充実させ、自分自身で「知りたい」ことをみつけられるようにすることができる ・ 読み手や聞き手を納得させるように、論理的科学的に英語で自分自身の考えを表現できるようになることができる			
〔評価割合〕 Class Participation (25%) / Tests (30%) / Handouts (45%)			

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	Introduction of this class, and Presentation of Movie 1-1	講義の説明、メディアを聞き取ることができる	
	2 週	Movie 1-2	教材に関する解説が理解できる	
	3 週	Movie 1-3	教材に関する解説が理解できる	
	4 週	Reading 1	教材に関する解説が理解できる。Part5 を中心に	
	5 週	Reading 2	文法事項が理解できる。	
	6 週	Reading 3	文法事項が理解できる。	
	7 週	Reading 4	文法事項が理解できる。	
	8 週	Review		
	9 週	Advertisement 1	メディアを聞き取ることができる	
	10 週	Advertisement 2	教材に関する解説が理解できる。	
	11 週	Advertisement 3	教材に関する解説が理解できる。	
	12 週	Reading 5	教材に関する解説が理解できる。Part7 を中心に	
	13 週	Reading 6	教材の読み方が理解できる。	
	14 週	Reading 7	教材の読み方が理解できる。	
	15 週	Final Test		

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった.